



2017年9月11日
株式会社 円谷プロダクション

ウルトラマンシリーズ初となる全天球360度VR特撮作品

『ウルトラマンゼロVR』『ウルトラファイトVR』

2017年10月1日(日)～全国の「VR THEATER」他にてリリース!

株式会社 円谷プロダクション(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:塚越隆行)と、株式会社 ポニーキャニオン(本社:東京都港区、代表取締役社長:吉村隆)は、株式会社je(本社:東京都港区、代表取締役:三代千晶)の協力を得て製作した、ウルトラマンシリーズ初となる360度VR特撮作品『ウルトラマンゼロVR』および『ウルトラファイトVR』を、2017年10月1日(日)より全国の「VR THEATER」及びウルトラマン関連イベントにて展開します。

リリースに先駆け、本日2017年9月11日(月)にポニーキャニオン本社1階にて完成披露体験会を開催致しました。

完成披露体験会では本作の監督である田口清隆監督と、スペシャルゲストとして辻本貴則監督(『ウルトラマンX』『THE NEXT GENERATION パトレイバー』他)が登壇し、本作の見所やVRの可能性について対談致しました。



写真左:左からウルトラセブン、辻本貴則監督、田口清隆監督、ウルトラマンゼロ

写真右:左から司会の白石稔、辻本貴則監督、田口清隆監督

■登壇者コメント

<田口清隆監督コメント>

VRはその場に居る気持ちになれる没入感が一番だと思いますが、ウルトラマンゼロと怪獣が戦っている特撮シーンと、後ろに居る人々が驚いているシーンをかみ合わせるのに一番苦労しました。

ラジコンにVRカメラを載せて逃げるシーンを撮影したり、サウンドにも様々な仕込みを入れたりしています。技術的には過渡期なので、やれる事は色々あると思います。

VRは周りが全て映ってしまうので通常のスタジオ特撮では出来ず、苦労した点多々ありましたが、TVシリーズよりも贅沢な事をやらせて頂きましたので、是非ご覧ください。

<辻本貴則監督コメント>

VR作品を体験しましたが、臨場感が半端ないですね。田口監督がVRをちゃんと踏まえた演出をされているので、じっくり没入できます。

『ウルトラファイトVR』は田口監督が趣味に走ったなと思いましたが、『ウルトラファイト』の良いところと、今だから出せる巨大感のさじ加減が上手いですね。山田二郎さんのナレーションもチャームングで『ウルトラファイト』の時から進化も感じられます。

新しい表現を観たクリエイターが悔しがって、さらに新しい見せ方を考えてくれるのじゃないかなと期待しています。自分もアクション映画で新たな領域を探したいと思いました。

【本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先】

株式会社 円谷プロダクション Web お問い合わせ

<http://www.tsuburaya-prod.co.jp/contact-us/>

■『ウルトラマンゼロVR』『ウルトラファイトVR』リリース情報

リリース日：2017年10月1日(日)

視聴料金：各600円

監督：田口清隆

製作：円谷プロダクション・ポニーキャニオン・eje

協力：VR THEATER

<展開先>

●「VR THEATER」

※「VR THEATER」は、全国の複合カフェ（インターネットカフェ・漫画喫茶）、ホテル、カラオケ、ゲームセンター等で気軽にバーチャルリアリティを体験できる店舗常設型サービスです。

※店舗により、別途入場料・機器レンタル料等が必要な場合がございます。詳細は各店舗までご確認ください。

「VR THEATER」公式サイト：<https://www.vrtheater.jp/>

●ウルトラマン関連イベント

※決定次第、公式WEBサイト等で発表致します。

WEBサイト：<http://m-78.jp/ultravr/>

■ 作品紹介：『ウルトラマンゼロVR』

「大都会の戦慄 エレキング対ゼロ」

東京都港区某所。オフィスビルでの会議中、突如、宇宙怪獣エレキングが出現する。命からがら非常口の扉を開けると、そこでは巨大怪獣とウルトラマンゼロのバトルが繰り広げられていた…！

(体験時間：6分40秒)



■ 作品紹介『ウルトラファイトVR』

「親子タッグ！ 激闘の荒野に花束を」

ウルトラセブン・ウルトラマンゼロの親子と、ガッツ星人・イカルス星人との荒野での大乱闘が始まった！

1970年放送の『ウルトラファイト』でナレーションを担当した山田二郎氏が当時の雰囲気そのままに、荒野の激闘を実況！

360度の泥まみれ「ウルトラファイト」は見応え充分！

(体験時間：6分00秒)

